

平成23年度学校教育研究大会中間報告

1 研究主題

自ら学び、豊かな想像力と表現力を備えた子どもの育成
～国語科の「読むこと」についての指導を中心に～

2 研究の仮説

〔仮説1〕

学年の発達段階に応じて、「叙述に即して適切に読む」ための手立てを共通理解し、継続して指導すれば、子どもたちの読み取る力や問題を把握する力を高めることができるのではないか。

〔仮説2〕

「読むこと」と「書くこと」との関連を図った言語活動を計画的に設定すれば、見通しをもつて読み進める力を身に付けさせることができるのではないか。

〔仮説3〕

他の教科・領域の指導と関連させ、文字言語の理解を通じた指導を幅広く行えば、子どもたちに、より実践的な文章を読み取る力を身につけさせることができるのではないか。

3 研究内容（主なもの）

(1) 豊かな文章表現に触れさせ、子どもたちの想像力や表現力を高めるとともに、文字言語を理解する機会を増やす。

ア 国語科の文学的文章教材の指導

- ① 物語の読解指導のための基本的な指導の流れ（単元の指導計画）
- ② 一単位時間の学習過程（自力解決から集団解決へ；グループ・ペア活動）
- ③ 場面主題の分析から学習課題の設定の仕方
- ④ 自力解決のためのワークシート活用
- ⑤ 単元のねらいを達成するための言語活動の設定

イ 読書指導のより一層の充実

- ① 子ども一人一人の実態に応じた参考図書の選定
- ② 年間を通じた読書指導の取組み
- ③ 読み聞かせの在り方と各学年での絵本の活用
- ④ 音読・読書の家庭での取組み、家読の効果的活用法

(2) 「叙述に即して適切に読む」ための手立てを明確にし、文章を把握するための実践的な力を高める。

ア 国語科の説明的文章教材の指導

- ① 説明的文章教材の指導のねらいや特性の理解
- ② 単元の指導の在り方
- ③ 一単位時間の学習過程
- ④ 要旨・要点のとらえさせ方
- ⑤ 単元のねらいを達成するための言語活動の設定

イ 算数科の文章問題の指導

- ① 問題場面のとらえさせ方と具体的な手立て
- ② 全校的な取組みを行うための手立て

4 研究の方法

- (1) 子どもの実態を適切に把握する。
 - ア 各教科・各領域の到達度
 - イ 子どもの生活習慣
 - ウ ノートの書き方・発表の仕方・グループ活動
- (2) 目的を明確にして、具体的な取組みの計画を立てる。
 - ア 学力向上対策委員会
 - ① 学習のきまりの精選と定期的な自己評価
 - ② ノート指導の共通理解
 - ③ 家庭学習のしおりの再確認と活用
 - イ 国語部
 - ① 文学的な文章教材の指導の在り方
 - ② 説明的な文章教材の指導の在り方
 - ③ 計画的な言語活動の設定
 - ウ 算数部
 - ① 学力検査等の文章問題の抽出
 - ② 文章問題の指導の在り方
 - エ 読書指導部
 - ① 年間を通した読書指導のための手立て
 - ② 参考図書等の選定
 - オ P T A 専門部との連携
 - ① 生活指導部（基本的な生活習慣）
 - ② 保健体育部（食育と健康保持）
 - ③ 研修部（読み聞かせ）
- (3) 共通理解・共通実践をする。
 - ア 学習に関するきまりや躰に関することを学年度当初に共通理解し、全学級実践
 - イ 略案にて全員授業提供、学年部等による参観
 - ウ 細案での研究授業（小中連携研修会）
- (4) 各取組みの成果を適切に調査し、課題をとらえる。

5 主題に関わる研修の実績

月	日	曜	研 修 項 目 ・ 内 容
4	11	月	○ 学力向上のための共通理解 「学習のきまり6か条」「ノートの使い方」「算数科文章問題の解き方」「家庭学習の進め方」について再度確認し、共通理解を図った。
5	17	火	○ 提供授業 2年 国語 単元名「読んだことをまとめよう」 教材名「たんぼぼのちえ」 研究の視点 ・ 題名や問いの文、めあてに関わるキーワードを明らかにし、その言葉に着目して段落を読めば、要点をとらえることができるのではないかと。
5	23	月	○ 国語科説明的文章教材の指導の在り方 1学期の説明的文章教材の指導の仕方、演習 ・ 説明的文章教材の単元の指導の在り方、一単位時間の学習過程、要点のと

			<p>らえさせ方、要約・要旨・段落構成の指導についての理論研究を行った。また、説明的文章理解のための教科書への記号記入の共通理解を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の手引きを使って、1学期の説明的文章教材の演習を行った。教材分析表に形式段落・意味段落の要点、段落相互のはたらき、要旨等を書き込んでいった。
6	15	木	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中連携研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校のテーマにもとづいて全員が略案を書き、吉田ブロックの小・中学校の先生に授業を提供した。
6	23	木	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼保小連絡会研究授業 1年 算数 教材名「ひきざん(1)」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 減法が適用される問題作りの指導を通して、算数の文章問題指導の研修を深めた。
6	27	月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期研究授業の実践報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期の提供授業の意見交換を行った後、課題や今後の方向性について話し合った。
7	21	木	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動を充実させるために、教科書の教材に関連のある本を洗い出す作業をした。
9	5	月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上のための共通理解・再確認 ○ 言語活動の効果的な設定の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明的文章教材の指導方法について再確認した。 ・ 国語科における言語活動の充実についての研修（言語活動の充実が必要とされる理由・言語活動の方法・言語活動の設定の仕方）を深めた。 ・ 文学的文章教材と説明的文章教材の言語活動を指導計画に組み入れる作業を行った。
9	26	月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語科説明的文章教材の指導の在り方 2学期の説明的文章教材の指導の仕方、演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明的文章教材の指導の在り、要点のとらえさせ方、説明的文章理解のための教科書への記号記入の再確認を行った。 ・ 2学期の説明的文章教材について、教材分析表に形式段落・意味段落の要点、段落相互のはたらき、要旨等を書き込んでいった。
10	19	水	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提供授業 1年 国語 教材名「くじらぐも」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生における文学的文章教材の読み取り方について研修を深めた。
11	9	月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提供授業 4年 国語 単元名「説明のしかたについて考えよう」 教材名「アップとルーズで伝える」 研究の視点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続語に着目したり、サイドラインや囲みを使用したりすれば、内容や段落相互の関係を読み取ることができるのではないか。

6 研究の実践
 (1) 授業の実践

第4学年 国語科学習指導案

平成23年11月9日(水) 2校時 指導者 山脇圭次

- 1 単元名 説明のしかたについて考えよう 教材名「アップとルーズで伝える」
- 2 本時の目標 ・ 写真と文章の対応関係を読み取り、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所や第4段落から第6段落までの段落相互の関係をつかむことができる。
- 3 本時の視点 ○ 接続語に着目したり、サイドラインや囲みを使用したりして、内容や段落相互の関係を読み取らせる。
- 4 本時の実際 (3 / 8)

過程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点
つ か む	1 本時のめあてを確認する。 「アップ」と「ルーズ」のちがいを読み取ろう。 2 写真と文章の対応を考えながら、第6段落までを読む。	7	○ 第3段落の「アップとルーズでは、どんなちがいがあるのでしょうか」という問いかけの文を読み、今日はその答えを読み取っていくことを確認する。 ○ テレビで写真を映し出し、写真と文章の対応を意識させる。
見 通 す	3 学習の進め方を知る。 ・ 逆説の接続語を四角で囲む。 ・ 「アップ」と「ルーズ」で伝えられることに直線、伝えられないことに波線を引く。	5	○ 「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴については、「しかし」「でも」に着目し、それぞれの言葉の前に長所、後に短所がかかれていることに気づかせる。
調 べ る	4 「アップ」と「ルーズ」の長所(伝えられること)と短所(伝えられないこと)を読み取る。 5 第4・5段落と第6段落の関係をとらえ、図に表す。 アップとルーズには伝えられることと伝えられないことがある。	23	○ 課題に一人一人取り組ませ、ノートにまとめさせ、読み取ったことを全体で確認するようにする。 ※ 「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を読み取ることができる。(ノート) ○ 第6段落の「このように」に着目させ第6段落が第4・5段落を受けていることを押さえる。 ※ 4段落から第6段落までの段落相互の関係をつかむことができる。(ノート)
ま と め る	6 第4段落から第6段落を読んで見つけた「上手な説明の仕方」を書く。 7 学習を振り返り、次時の見通しを持つ。	10	○ 接続語を上手く使えば、読み手も内容を読み取りやすいことに気づかせる。 ○ 次の時間は、第7・8段落を読んで、説明の工夫を考えることを伝える。

(2) 言語活動の計画 (文学的文章教材・説明的文章教材)

第4学年国語科年間指導計画(教材と言語活動)

月	単元名(言語活動)	時数	教材	時数	言語活動の内容	時数
4	音読げきをしよう	8	白いぼうし	4	人物の行動や心情, 場面の様子などがよく分かるように工夫して, 音読劇をする。	4
5	読んで, 自分の考えをまとめよう	10	大きな力を出す 動いて, 考えて, また動く	2 5	筆者の考えに対する自分の考えを明確にし, 理由(自分の知識や体験)を添えながら文章に書く。	3
6	物語を読んでしよう かいしよう	8	一つの花	6	「平和」をテーマにした本を読んで自分の考えを書き, 友達と交流する。	2
7	本は友達	6	かげ	3	本の特徴やよさがつたわるよう, ポスターで紹介する。「かげ」を読んでキャッチコピーを考える。	3
10	読んで考えたことを話し合おう	14	ごんぎつね	10	「ごん」と「兵十」の関係やすれ違いが生み出す結末について叙述を根拠に話し合う。「ごんぎつね」の続き話, 「ごん日記」を書き紹介し合う。	4
11	説明のしかたについて考えよう	8	アップとルーズ で伝える	6	上手な説明の仕方についてまとめる。テレビや新聞で「アップ」と「ルーズ」の使われ方を見つけ, 説明する上でのよさを調べる。	2
11	写真と文章で説明しよう	7	「仕事リーフレット」を作ろう	7	仕事について取材をし, 写真と文章を工夫して組み合わせ, リーフレットを作成する。	7
11	物語を読んで, 感想文を書こう	9	三つのお願い	5	どんな言葉を使えば自分の思いを表すことができるかを考えながら, 資料「やさしい心」の感想文を書く。	4
1	詩を書こう	4	野原の仲間になって	4	野原の仲間になりきって, せいかくや見える景色, 思っていることなどを考え, 詩を書く。	4
1	科学読み物をしよう かいしよう	10	ウナギのなぞを追って	6	読み手がどこに興味を持ったかを明確にし, そこを中心にして要約したり, 必要に応じて引用したりして科学読み物の紹介文を書く。	4
3	作品のひみつをさぐる	10	初雪のふる日	5	漠然とした読後感を出発点, それが作品のどの言葉や表現なのか, その秘密を探る。	5

7 研究の成果と課題

(1) 研究の成果

- ・ 説明的文章教材の内容を適切に読み取るために、ワークシートを工夫することができた。
- ・ 説明的文章教材を読み進めていく上で大切なサイドラインや囲みなどの記入について共通理解した。キーセンテンスや文末表現にはサイドラインを引きやキーワードや指示語、接続語等は囲むなどの記入法を統一した。
- ・ 指導計画に言語活動を組み入れることによって、それに向けて学習計画を立てることができるようになった。
- ・ 教科書の教材に関連ある本を洗い出すことによって、図書室のどの本が利用できるかがすぐに分かるようになった。また、言語活動の充実にも役立っている。

(2) 研究の課題

- ・ 説明的文章教材の系統的な指導を確立していかなければならない。
- ・ 中心文（要点）、文末表現、接続語への印の仕方について共通理解したので、共通実践する必要がある。そのために、研修の時間に、自分の学年の説明的文章教材に印を記入する演習を行ったのだが、同じ説明的文章教材を使って全員で検討する演習も行うのも効果的である。
- ・ 説明的文章教材の内容を理解させるとともに、それについての自分の考えを表現したり、それに関連したことを調べて発信したりする機会を多くし、言語活動の充実を図っていきたい。
- ・ 学年の発達段階における言語活動の習得に心がけ、系統的な指導をしていきたい。